

神奈川県微生物検査情報

<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp/>

神奈川県衛生研究所

第 287 号

平成 28 年 11 月 18 日発行
病原体検出は平成 28 年 9 月分

表 1 病原体検出状況(保健所等別)―平成 28 年 9 月

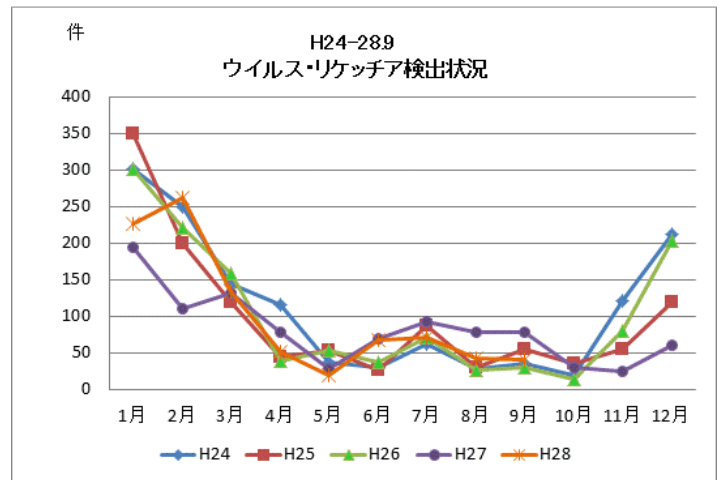
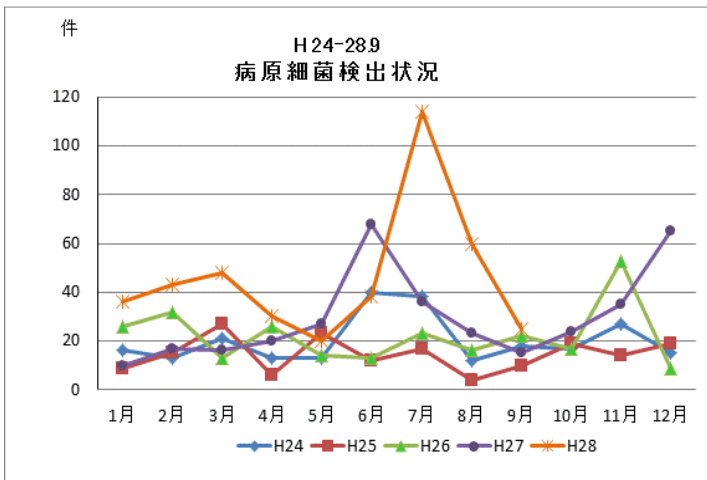
	感染症および食中毒に伴う行政検査並びに依頼検査										病原体定点				合計				
	平塚保健福祉事務所	秦野センター	平塚保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉保健福祉事務所 三崎センター	小田原保健福祉事務所	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	茅ヶ崎保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所	厚木保健福祉事務所 大和センター	横須賀市保健所	藤沢市保健所	計	小児科		インフルエンザ	眼科	基幹	その他の医療機関
病原細菌	腸管出血性大腸菌(EHEC)							2			1	2	5						5
	その他の大腸菌※													3					3
	カンピロバクター ジェジュニ			4				1					5						5
	A群溶血レンサ球菌													2					2
	エンテロコッカス フェシエイム										1		1						1
	レジオネラ ニューモフィラ	1											1						1
	マイコプラズマ ニューモニエ													6			2		8
	計	1	4					3			2	2	12	11			2		25
ウイルス・リケッチア	インフルエンザ AH3								3			3	1	1					5
	コクサッキー A4												1						1
	コクサッキー A6												6						6
	コクサッキー A10												3						3
	コクサッキー A16												2						2
	コクサッキー B5												1						1
	エコー 6																1		1
	ライノ											1	1						1
	ムンプス											1	1	4					5
	麻疹	6						2					8						8
	アデノ 41													1					1
	アデノ 46										1		1						1
	アデノ 54										1		1						1
	ノロ				1			1					2	2					4
	デング								1 (1)				1 (1)						1 (1)
計	6		1				3	4 (1)		2	2	18 (1)	21	1		1		41 (1)	
合計	7	4	1				6	4 (1)		4	4	30 (1)	32	1		3		66 (1)	

※：EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

海外渡航者数は（内数）として記載

<検出状況>

○ 9月の病原体検出数は合計66件、細菌は25件、ウイルス・リケッチアは41件であった。



- 病原体定点等の医療機関からの検査では、小児科定点から細菌が11件、ウイルスが21件、インフルエンザ定点からウイルスが1件、基幹定点から細菌が2件、ウイルスが1件検出された。
- 保健所管内別の病原体検出状況は表1のとおりである。

表2 病原細菌検出状況(臨床診断別)―平成28年9月

	感 染 症														（食 有 症 中 苦 情 毒 含 む ） 様 ）	（依 保 菌 類 者 検 査 ） 査 ）	合 計	
	コ レ ラ	細 菌 性 赤 痢	腸 チ フ ス	バ ラ チ フ ス	腸 管 出 血 性 大 腸 菌 感 染 症	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	百 日 咳	細 菌 性 髄 膜 炎	菌 血 症	ペ ニ シ リ ン 耐 性 肺 炎 球 菌 感 染 症	レ ジ オ ネ ラ 症	淋 菌 感 染 症				そ の 他
検 査 検 体 数	2				35	2	9	9					3		1	52	1640	1753
腸管出血性大腸菌(EHEC)					5													5
その他の大腸菌※							3											3
カンピロバクター ジェジュニ																5		5
A群溶血レンサ球菌						2												2
エンテロコッカス フェシウム															1			1
レジオネラ ニューモフィラ													1					1
マイコプラズマ ニューモニエ								8										8
計					5	2	3	8					1		1	5		25

※： EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

- 腸管出血性大腸菌感染症届出関連に伴う検査で、35 検体中 5 検体から腸管出血性大腸菌 O157（VT1+、VT2+）が検出された。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者 2 検体中 2 検体から、A 群溶血レンサ球菌が分離培養によって検出された。血清型は、T1 が 1 検体、TB3264 が 1 検体であった。
- 感染性胃腸炎患者 9 検体中 2 検体からその他の大腸菌が検出された。その内訳は、血清型 OUT *astA* と O25 の同時検出が 1 検体、OUT *astA* が 1 検体であった。
- マイコプラズマ肺炎患者 9 検体中 8 検体からマイコプラズマ ニューモニエが PCR と分離培養によって検出された。
- レジオネラ症患者 3 検体中 1 検体からレジオネラ ニューモフィラ（血清群 1）が分離培養によって検出された。
- その他の感染症では、バンコマイシン耐性腸球菌感染症患者 1 検体中 1 検体からバンコマイシン耐性エンテロコッカス フェシウム（遺伝子型 VanA）が検出された。
- 食中毒様事例（有症苦情含む）52 検体を検査したところ 5 検体からカンピロバクター ジェジュニが検出された。

表3 病原細菌検出状況(月別)―平成27年9月～平成28年9月

	9月	10月	11月	12月	平成27年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平成28年累計
腸管出血性大腸菌(EHEC)	3				20		2		2		4	4	6	5	23
毒素原性大腸菌(ETEC)													2		2
腸管病原性大腸菌(EPEC)							2				1		1		4
腸管凝集性大腸菌(EAggEC)					2										
その他の大腸菌 ※	2		4	7	26	1	1	2	1		1	3	5	3	17
サルモネラ O4群					7		1	1	1						3
サルモネラ O7群		1			7							1			1
サルモネラ O8群	1				1			1	1	1					3
腸炎ビブリオ													1		1
エロモナス ハイドロフィラ					1						1				1
カンピロバクター ジェジュニ	2	1		1	25	4		5	7	2	9	2	25	5	59
カンピロバクター コリ					2					1					1
黄色ブドウ球菌	1				16	1	1				1	6	1		10
ウエルシュ菌					11			1					2		3
セレウス菌					2										
A群溶血レンサ球菌		4	8	18	125	7	8	12	12	10	9	6	6	2	72
エンテロкокカス フェシウム			12	30	46	17	27	22	2		2	2	5	1	78
百日咳菌						1									1
淋菌											1				1
クラミジア トラコマティス										1	1	2	1		5
肺炎球菌							1			3					4
マイコプラズマ ニューモニエ	4	17	9	7	49	4		1	4		7	8	5	8	37
レジオネラ ニューモフィラ	2	1	2	2	16	1		3		1			2	1	8
その他の細菌										1	1	78			80
合計	15	24	35	65	356	36	43	48	30	20	38	114	60	25	414

※:その他の大腸菌: EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAggEC以外の大腸菌(病原性不明なもの)

表4 ウイルス・リケッチア検出状況(臨床診断別)―平成28年9月

	感 染 症																食 中 毒 (有 症 苦 情 含 む 様 々)	合 計
	ウエストナイル熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	急性脳炎	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	感染性胃腸炎	手足口病	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	インフルエンザ様	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎		
検査検体数			14				7	8	1	6	32	6	5	3	12		18	112
インフルエンザ AH3													5					5
コクサッキー A4										1								1
コクサッキー A6								4		2								6
コクサッキー A10								1		2								3
コクサッキー A16								2										2
コクサッキー B5										1								1
エコー 6															1			1
ライノ															1			1
ムンプス												4			1			5
麻疹											8							8
アデノ 41							1											1
アデノ 46														1				1
アデノ 54														1				1
ノロ								2									2	4
デング			1 (1)															1 (1)
計			1 (1)				3	7		6	8	4	5	2	3		2 (4)	41 (1)

海外渡航者数は(内数)として記載

- デング熱およびジカ熱等疑い患者7症例(14検体)中1例から、デングNS1抗原が検出された。患者には海外渡航歴(フィリピン)があり、渡航先で感染したと推察された。
- 感染性胃腸炎患者7例中3例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス41型が1例、ノロウイルスが2例であった。
- 手足口病患者8例中7例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA6型が4例、コクサッキーウイルスA10型が1例、コクサッキーウイルスA16型が2例であった。
- ヘルパンギーナ患者6例からウイルスが検出された。その内訳は、コクサッキーウイルスA4型が1例、コクサッキーウイルスA6型が2例、コクサッキーウイルスA10型が2例、コクサッキーウイルスB5型が1例であった。
- 麻疹疑い患者32例中8例から麻疹ウイルスが検出された。
- 流行性耳下腺炎患者6例中4例からムンプスウイルスが検出された。
- インフルエンザ様患者2例中2例からインフルエンザウイルスAH3型が検出された。また、集団かぜ患者1集団3例から、インフルエンザウイルスAH3型が検出された。
- 流行性角結膜炎患者3例中2例からウイルスが検出された。その内訳は、アデノウイルス46型が1例、アデノウイルス54型が1例であった。
- 無菌性髄膜炎患者6例(12検体)中3例(3検体)からウイルスが検出された。その内訳は、1例目は咽頭ぬぐい液からムンプスウイルス、2例目は咽頭ぬぐい液からライノウイルス、3例目は髄液からエコーウイルス6型であった。
- 食中毒様胃腸炎調査では、便18検体について検査を実施したところ、2検体からノロウイルスが検出された。

表5 ウイルス・リケッチア検出状況(月別)-平成27年9月～平成28年9月

	9月	10月	11月	12月	平成27年累計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平成28年累計
インフルエンザ AH1pdm09		6	3	12	27	121	113	26	1						261
インフルエンザ AH3	9		1	3	205	15	16	11		3				5	50
インフルエンザ B		2		1	61	40	62	46	12	2	1				163
R S		1	1	3	6										
コクサッキー A2	2	1			3							4	6		10
コクサッキー A4					1						4	21	3	1	29
コクサッキー A5		1			2							3	2		5
コクサッキー A6	22	4	3	1	67			1				1	4	6	12
コクサッキー A9	3				25										
コクサッキー A10	4	3			10						1	13	6	3	23
コクサッキー A14					2										
コクサッキー A16	8	4			66							1	1	2	4
コクサッキー B3			1		2							1	2		3
コクサッキー B4	1				1										
コクサッキー B5				1	1						3	8	1	1	13
エコー 6														1	1
エコー 11													3		3
エコー 16					2										
エコー 18	1				2							3	1		4
エンテロ 68	2	1			3										
エンテロ 71									1						1
A型肝炎								1 (1)							1 (1)
バレコ 1	1				1										
バレコ 3											8	6	3		17
バレコ 6		2	1		3										
ライノ		2			9			2	3		2	2	1	1	11
ムンプス					3		2	1		2	2	1	1	5	14
麻疹					11									8	8
アデノ 1					5	1			4		1	1	1		8
アデノ 2	1	1		1	18		1	1	5	2	3	1			13
アデノ 3	1		2	3	53	1	1		1	1	2	1	2		9
アデノ 4					4		2			3			2		7
アデノ 5	1			1	2	1	1			1		1			4
アデノ 19					1							1			1
アデノ 37					2								1		1
アデノ 41											1			1	2
アデノ 46														1	1
アデノ 54												2	1	1	4
アデノ(型未決定)					1										
単純ヘルペス 1					3										
水痘・帯状疱疹	1			1	2		1								1
サイトメガロ					1				2				1		3
E B	1				2	1									1
ヒトヘルペス 6	2				6		1		1				1		3
ヒトヘルペス 7	3	3	1		8	1		1			1				3
バルボ B19					1										
ロ タ				1	1				2						2
ノ ロ	10	4	10	29	326	45	63	45	19	4	37	1		4	218
サ ボ				3	13						1				1
アストロ					5	1									1
デング	2 (2)				9 (9)					1 (1)				1 (1)	2 (2)
オリエンチア ツツガムシ			2		2										
合計	75 (2)	35	25	60	978(9)	227	263	134	52 (1)	19 (1)	67	72	43	41 (1)	918(3)

海外渡航者数は(内数)として記載

表6 食品・環境由来の病原細菌検出状況—平成 28 年 9 月

	病原細菌検出数および検査検体数													
	食 品						環 境							
	9月			1~9月累計			9月				1~9月累計			
	食中毒等	収去検査	その他	食中毒等	収去検査	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他	海水※	浴槽水等	食中毒等	その他
検 査 検 体 数	4	127	90	77	939	154		17	11	11	68	127	123	189
その他の大腸菌 ※2					1									4
サルモネラ 04群		1			1									
腸炎ビブリオ					1									
黄色ブドウ球菌		1	7		3	7								
レジオネラ ニューモフィラ 1群								1					2	
レジオネラ ニューモフィラ 3群													3	
レジオネラ ニューモフィラ 5群								1					2	
レジオネラ ニューモフィラ 6群								1					6	
レジオネラ ニューモフィラ 8群														1
レジオネラ ニューモフィラ 9群													1	
検 出 菌 計		2	7		6	7		3					14	5

※：河川水を含む。

※2： EHEC(VTEC)・ETEC・EIEC・EPEC・EAaggEC以外の大腸菌（病原性不明なもの）

- 食品由来では、収去検査 2 検体から食中毒菌が検出された。検出状況は、サルモネラ 04 群がサイコロステーキ（ビーフ&チキン）から 1 検体、黄色ブドウ球菌が生めんから 1 検体であった。その他では手指ふきとり 7 検体から黄色ブドウ球菌が検出された。
- 環境由来の浴槽水 15 検体中 3 検体からレジオネラ ニューモフィラが検出された。血清型は、1 群、5 群、6 群が各々 1 検体であった。